水研グループ さらなる飛躍に挑戦

スイケンフーズ加工場稼働へ

ノルウェーサバや養マグロ加工　県知事、市長ら完成祝う

佐賀・唐津

【唐津】大阪の水産専門商社、水研（斎藤総一郎社長）の100％子会社・スイケンフーズ（佐賀県唐津市、南堅吾社長）の水産加工場が20日、同市の唐津水産加工団地内に竣工した。HACCP対応型の工場で、10月から本格的に生産を開始する。20日に同市内であった竣工式、落成式には山口祥義県知事、峰達郎唐津市長、唐津水産加工団地協同組合の青木政美代表理事ら関係者約100人が出席し、完成を祝った。竣工式、落成式の様子とともに、斎藤社長にこれからの水研グループについて話を聞いた。

水産加工場の竣工を祝い、鏡開き

竣工式では斎藤社長、南社長、峰市長、工事関係者が出席し、玉串を奉てんした。その後、内覧会があり、訪れた取引先や関係者、地域の同業者などに製造工程や設備を説明した。

落成式では、南社長が唐津に進出した理由について話をし、「食品の安全・安心に対する消費者の関心を真摯（しんし）に受け止め、より良められるなど、素晴らしい製品の生産に努めること約束する」と力説した。山口知事ら3人が祝辞を述べ、施工者を代表してフリーザーシステム（福岡県飯塚市）の松下千佳人社長が「ご臨席の皆さまに工事に関して過分なお褒めの言葉を頂き光栄」とあいさつした。

築地魚市場の吉田猛社長が乾杯の発声の前に、「水研さまはノルウェーサバ、バレンツ海のカニをいち早く取り扱われ、国内において唐津、長崎に拠点を構えられた。その他のいろいろな事業を成し遂げ、今日の水産加工場の落成式、養殖も始まったばかりで、まだまだ伸びる」とたたえた。

斎藤社長が「24日からいよいよ生産がスタートする。より安心・安全な商品を供給し続けることが、地元の皆さまやわが社を長年ご愛顧いただいている取引先に対するご恩返しにつながる」と謝辞を述べた。福井中央魚市の三木譲社長が「親会社の水研さまのDNAを引き継いだスイケンフーズさまが地元・唐津、佐賀県の期待を一身に背負い、ますます発展することを期待します」と述べ、三本締めで会を締めた。

取引先らに工場の設備などを説明

新水産加工場の落成式

祝辞

一緒に国内、世界に供給を

佐賀県知事　山口 祥義 氏

斎藤総一郎社長が「国内に加工施設を持つのが自分の夢だ」とおっしゃられておりましたが、このたびの夢実現、おめでとうございます。また、多くの関係者の皆さまが集まられ、船出を祝福されることは素晴らしいことだと思います。

水産資源を国内、世界の皆さまに喜んでもらえるよう流通させる水研さまの取り組みを誇りに思う。工場完成はまだ夢の入り口ではないでしょうか。これから佐賀県の夢と一緒に、その夢の続きをともに歩んでまいりましょう。

スイケンフーズさまでは佐賀県民を雇用していただき、ありがとうございます。佐賀の唐津をスタートの地として選んでいただけたことをうれしく思います。これからわれわれは斎藤社長、南堅吾社長とともに歩んでいきたいと思います。スイケンフーズさまがさらに飛躍されることを心から祈念します。

市全体の発展に寄与

唐津市長　峰 達郎 氏

本日、めでたく、竣工式・落成式が執り行われたことを心よりお喜び申し上げます。また、工場の新設にあたりまして市民を多数、雇用いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

落成式に先立ち、工場の見学をさせていただきました。HACCP対応・安全に配慮された工場だと思いました。ノルウェーサバのフィレーや切り身を中心に締めサバを取り扱われ、また、将来的には米国向けHACCPの認証の取得を計画。輸出事業にも取り組んでいく考えだとお伺いしております。

本市の持続的な発展を考える上で、水産業は欠かすことができないものであります。このたびの工場操業により、市の水産業の振興はもとより唐津市全体の発展に寄与していただけると期待しています。市としても、操業が円滑に進むよう支援していきます。

先見性と創造性を兼ね備え

唐津水産加工団地協同組合代表理事　青木 政美 氏

水研さまはより良い水産物流通のあり方を極めるため、創業以来常に時代を先取りして進む大胆さと、先見性と創造性を兼ね備え、大きく発展してこられました。水産物商社として国内外のネットワークを生かし、水産流通の多様なシーンで高度な専門性と豊富なノウハウを長年にわたって蓄積され、生産者と消費者の双方のニーズを熟知し、既存の枠にとらわれない新たな商品開発をされてます。

このたびは将来を見据えて水産加工施設を唐津に施工されたことを厚くお礼申し上げます。厳しい環境の中においても、水研グループさま一丸となって工場を運営されることを確信いたしております。今後、ますます多様化する環境の中で、豊かな食文化の創造のため、微力ながら私どももお手伝いさせていただきたいと思います。

水研　斎藤 総一郎 社長に聞く

水研はここ数年で多角化経営に乗り出している。水研の斎藤総一郎社長に狙いを聞いた。

昨年、ホンダ水産の子会社化、今年2月にスイケンフーズ、6月にはブグやウナギを陸上で養殖する長崎陸上養殖を設立。現在、大手企業を除き、中小企業は事業の多角化よりもむしろ集約化を進めている中、多角化する狙いは。

中期経営計画の中で、川上から川下まで一気通貫の組織体制の構築を挙げていた。水産物の商社としてこれまで、単独で事業を展開してきた。近年、大手食品問屋と中小食品問屋との合併に加え、量販店や外食産業の合併やグループ化が進んでいる中で、競争が激しくなり、商社、食品の卸売業という事業だけでは生き残りが難しいと感じていた。生き残るための一手として、垂直型の多角化経営に踏み切った。

グループでの勝算の見通しは。

世界的に水産物の消費は拡大している。今後も伸びるだろう。2020年の東京オリンピック・パラリンピック、25年の大阪万博による訪日外国人を考慮すると、日本産水産物の海外での需要は今以上に高まる。原料や加工品を確保できれば、販売チャネルはまだまだある。

また、国内を見ても、人口減少や高齢化によりマーケットは縮小しているものの、食料品は人間にとってはなくてはならないものだから、急激に減少することはない。ただ、食が多様化し流行が目まぐるしく変わる。マーケットニーズを反映した商品を素早く提供できれば、グループとして他社にまねのできない競争優位性を持つことができる。その一翼を担うスイケンフーズの役割は大きい。

漁業や養殖、外食産業や量販店を経営する可能性は。

さらなる川上、川下の参入は現段階では考えていない。特に外食や量販店の経営は専門企業に任せる。長崎陸上養殖は独創的な技術力のあるパートナー企業が見つかったこともあり、設立した。将来的には海面養殖にも乗り出すことも考えていくが、急な拡大は考えていない。

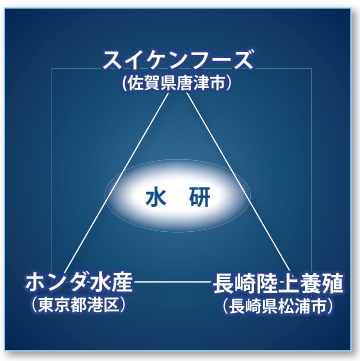
将来の水研グループについて。

グループ年商は現在、270億円。スイケンフーズの水産加工場の稼働によって、300億円体制構築に目鼻がついた。スイケンフーズ、長崎陸上養殖では付加価値があり、商品力のある製品を生産し、水研、スイケンフーズ、ホンダ水産で販売。シナジー効果によって企業価値を高めながら、ここ数年で目標を達成したい。売り上げと同時に、利益も追っていく。国内水産物の海外への輸出事業は今後、大きな柱に育てていく。

グループとしての適性規模は分からないが、事業を継続させ、発展させるためには年商500億円まで目指したい。500億円に到達するまでの成長のロードマップはこれから描いていく。

グループ年商300億円目指す

ニーズ即応で〝競争優位性〟確立



水研グループの繁栄を期待します

■水産加工機器各種
さくらシステム
代表 上野 亨
〒599-8261 大阪府堺市中区堀上町33-1
TEL 090-4760-5238 FAX 072-270-2449
ueno-fa@gaia.eonet.ne.jp

■HACCP対応食品総合プラントメーカー（設計・施工）
株式会社 フリーザーシステム
一級建築士事務所 福岡県知事 登録 第1-30296号
特定建設業許可 国土交通大臣 許可（特-31）第23053号
代表取締役 松下 千佳人
本社：福岡県飯塚市有安958-5 TEL 0948-82-4411（代表）

■加工機械
フィッシュカッターのパイオニア
株式会社 フィッシュカッター リネザワ商事
〒988-0204 宮城県気仙沼市岩月長平15-2
TEL 0226-27-4025 FAX 0226-27-4140

■機械設備
株式会社 寺岡精工 TERAOKA
鹿児島営業所 鹿児島県鹿児島市東開町5-11 TEL099-269-7780
本社 東京都大田区久が原5-13-12 TEL0120-37-5269

■コンテナ洗浄機
KyoDo 株式会社キョウドウ
本社：東京都大田区東蒲田2-30-17 7F
埼玉営業所：埼玉県川口市東本郷139
TEL 048-284-2367/FAX 048-284-2371

■重量選別機
NSC
合同会社エヌエスコーポレーション
代表取締役 仲井 清高
〒799-3131 愛媛県伊予市大平甲1457-1
TEL 089-983-5521 FAX 089-989-0080

■ボイラー
SAMSOLUTION
株式会社 サムソン
本社：香川県観音寺市八幡町3丁目4番15号
福岡支店：福岡県大野城市川久保1-17-20
TEL 092-513-3030/FAX 092-513-3003

■防虫防鼠
大塚グループ
アース環境サービス株式会社
九州支店 福岡営業所
〒812-0041 福岡市博多区吉塚5-7-21
TEL 092-621-0640 FAX 092-621-9229

■ユニフォームレンタル
Uni-Mate,Inc.
株式会社 ユニメイト
本社：千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア7階
〒101-0054/TEL 03-5217-0751
九州支社：福岡県福岡市中央区清川1-9-19 渡辺通南ビル4階
〒810-0005/TEL 092-526-7221

■ラベル
MARU-SIN
株式会社 丸信
〒839-0813 福岡県久留米市山川市ノ上町7-20
TEL 0942-43-6621 FAX 0942-43-6855

総合衛生管理
HACCP認証協会
会長 中山 博友
福岡県筑後市山ノ井235番地
TEL 0942-27-8237

■業務用包装資材
ケイ・パッケージ株式会社
代表取締役社長 梅野 慶司
〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-70-3306
TEL 092-407-9087 FAX 092-407-9097

■資材
九州パッケージ工業株式会社
代表取締役社長 中嶋 泰輔
〒847-0101 佐賀県唐津市中瀬通10-47
TEL 0955-73-9800 FAX 0955-79-7575

■ソフトウェア設計・開発
株式会社 システムサイエンス
代表取締役 中川 昌俊
福岡県北九州市小倉南区富士見2-15-10
TEL 093-951-6697

■船具用品、海洋資材、工場備品
株式会社 ハマグチ
海の中から 陸上まで
〒847-0873 佐賀県唐津市海岸通7182-78
TEL 0955-72-5135 FAX 0955-72-5272